

平成 29 年第 1 回 高千穂町議会定例会

一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【 8 名 13 件 】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
3月13日(月) 10:00~	1	戸高清次議員	2件	1. 高千穂高等学校存続の支援策について 2. 適正な小中学校編成計画について	1
	2	工藤博志議員	2件	1. 農家支援策について 2. 議場の改修について	3
	3	飯干清喜議員	2件	1. 敬老会について 2. 町有地及び町有財産について	4
	4	富高友子議員	2件	1. 子育て支援（給食費・医療費助成、奨学金の返還支援）について 2. DV問題について	5
	5	中島早苗議員	1件	1. 歩道の安全性について	6
	6	奈須克喜議員	1件	1. 魅力ある観光地の町づくりについて	7
3月14日(火) 10:00~	7	本願和茂議員	2件	1. 消防団員を取り巻く環境改善について 2. 子どもの貧困・心の病の対応について	8
	8	馬原英治議員	1件	1. 町内の杉伐採跡地の再造林について	9

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	戸高清次 議員	1. 高千穂高等学校 存続の支援策について	<p>宮崎県による全日制県立高等学校における1学年の適正規模は、4学級から8学級を基本としています。</p> <p>現在、国の基準では、1学級の定員は40人が基準となっています。</p> <p>適正規模の対応として、1学年4学級以下の高等学校については、定員を満たさない状況が続く場合には、統廃合等を検討するとのことであります。</p> <p>高千穂高等学校は、郡内唯一の高等学校で、現在、全校生徒数は371人で郡外生徒数が77人、生産流通科1学級、経営情報科1学級、普通科2学級、計4学級となっており、町内の中学校卒業者の進路状況は、高千穂高等学校入学者が平成27年度55%で、平成28年度西臼杵郡内の中学校3年生177人、中学校2年生159人、中学校1年生157人となっており、高等学校入学予想人数は、対象人数に対して60%のとき平成29年が106人、平成30年が95人、平成31年が91人と予想されています。今後、最低でも郡内の中学卒業生の75%以上が入学しなければ、存続が厳しくなり、統廃合の対象となります。</p> <p>仮に、高等学校が閉校することになれば、郡内の小・中学生と保護者にも大きな影響を及ぼすとともに、地域経済も衰退していくことが予想されます。</p> <p>郡外の生徒数が77人で、学校存続に貢献していますが、現在、高等学校が一番困っていることは、高校の寮を希望する生徒が年々増えているのに対して、対応できていないことであります。</p> <p>高校の寮の定員46人に対して、現在51人となっています。そこで、寮の増設を県の財務福利課に要望しましたが、財政状況が厳しいので、増設は困難とのことです。そこで、町が支援策を講じ、県の財務福利課にも働きかけ、寮を増設することや町内の施設を寮として活用することで郡外及び郡内の入学者が増加するのではいかと考えますが、町として取り組むことができないか、伺います。</p> <p>また、串間市は福島高等学校の入学者の支援策として、串間市出身の新入学生徒1人当たり5万円を保護者に助成し、成績優秀な入学者に毎月2万円、最大3年間給付型奨学金の支給を行うとのことです。福島高等学校は市の支援策で、平成29年度入学希望者が20人ほど増加したとのことです。</p> <p>高千穂高等学校存続に向けて、高千穂町が率先して支援策に取り組むべきでないか考えますが、町長の考えを伺います。</p>	町長

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	戸高清次 議員	2. 適正な小中学校 編成計画について	<p>現在、本町には、中学校3校、生徒数 338 人、小学校5校、生徒数 668 人、全体の合計で、1,006 人となっています。去年1年間で本町で生まれた子どもは 82 人で、今後少子化が進行することにより、入学する児童生徒が減少すると予想されます。</p> <p>小規模校においては、複式学級で対応する学校も増え、部活動についても選択肢が少なくなり、お互いに学び合い、高め合いながら考えを磨き上げ、表現力やコミュニケーション能力を伸ばす教育環境が損なわれると考えます。</p> <p>濱田教育長が、所信表明で3つの柱で掲げられた「安心・安全な学校構築」、「学力向上」、「地域人材の活用」の教育方針を踏まえ、子どもたちにとって望ましい教育を提供するためにも、将来の小中学校の学校編成について教育行政で方向性を議論し、保護者と町民と十分に意見交換を重ねて、適正な学校編成計画及び実施計画の素案を作成することが重要なことだと考えますが、教育長の考えを伺います。</p>	教育長

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	工藤博志 議員	1. 農家支援策について	<p>農業は、国民の食生活を守る観点からや国土保全・水資源の涵養などいろいろな面で、重要な産業であり職業だと考えます。過疎化、少子高齢化とともに後継者や担い手は不足していますが、現在農業に取り組んでいる農家を支えなければ本町の農業も衰退する一方ではないかと危惧しています。これまでも国、県の補助事業にあわせ町と個人負担（団体を含む）の事業はありますが、対象基準が高く対象外の農家があると聞いています。</p> <p>町単独で、軽微な機械導入の補助、ハウスビニールの張替え補助や種苗導入の補助など継続して事業に取り組んで頂いておりますが、規模拡大は無理でも現状維持なら継続して農業が続けられるような農家に対して、大型機械（田植え機、トラクター、コンバイン、米乾燥機）などの町単独事業の取り組みは出来ないか伺います。</p>	町長
		2. 議場の改修について	<p>本庁舎は築35年経過して現在耐震強化対策事業がされております。議場についても不都合がある場合はそのつど改修されておりますが、次期町議会議員の改選からは定数13人となり、現状のままだと空席が多くなります。</p> <p>また、傍聴席についても階段があることでの不便や、音声の不都合で聞きづらいなどの意見もあるようです。</p> <p>「開かれた議会」「住民サービス」の一環として、取り組むことは出来ないか伺います。</p>	町長

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	飯干清喜 議員	1. 敬老会について	<p>数年度おきに、町全体あるいは小学校校区ごとの敬老会が町主催でできないか伺います。</p> <p>理由</p> <p>①大きな公民館と小さな公民館の催し物の差が大きい。小さな公民館は集まって飲み食いだけの所もある。</p> <p>②大きな公民館でも、行事が例年同様となっており、弁当配布とともに帰られる人も見られる。</p> <p>③多くの敬老会の人が、外の地区の同年代の人たちに会いたがっておられる。</p> <p>④町内全地区で行われているにもかかわらず、町の負担は少ない。</p> <p>⑤フェスティバルの催し物が若年向けとなっており、年配者を楽しませる機会が少ない。</p> <p>⑥同じ日同じ時間に全地区で行われるため、町長の出席も難しい。</p> <p>等の理由です。</p>	町長
		2. 町有地及び町有財産について	<p>これ等の財産について、取得の折には色々な経緯や計画もあったと思われますが、全てが有効活用されているとも思えません。今回財政課で建物等については総合計画を作られるとのことで、今後適正配置と有効活用がなされるものと思いますが、土地についても見直す時期となっているのではないのでしょうか。必要としない場所の公売や、既に町以外の企業や団体に使われている土地の売却も検討されるべきではないのでしょうか。</p> <p>例えば、JA 家畜市場横の駐車場用地です。仔牛高騰の今こそ畜連かJAに買ってもらえるチャンスです。町立病院跡地も観光協会事務所として利用されていますが、観光協会も今や県内屈指の財政力を誇る法人です。今後も同地を必要とされるなら買ってもらうべきです。町有林についても、有効活用されないままです。試しに一山くらい伐採して、どのくらいの収益が上がるのか実感してみても、図書館等の整備に充てられたらいいかでしょうか。</p>	町長

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	中島早苗 議員	1. 歩道の安全性について	<p>三升蒔の総合公園の一部歩道に、石を敷き詰めた所があります。</p> <p>見た目はとても感じが良くていいのですが、何人かの町民から雨が降ると滑りやすく、怖い思いをしたとの話を聞きました。</p> <p>実際雨の日に歩いてみたところ、運動靴を履いて歩いても滑りやすいので、ヒールなど高い靴はとても危ないと思いました。</p> <p>総合公園ができてから年数も経っていますので、こけなどの付着のため滑りやすくなっているのかとも思われます。</p> <p>総合公園は、高齢者の方から幼児まで多くの方々が日々活用されています。</p> <p>また、管理センターではイベントや会合など頻繁にあります。コミュニティセンターには観光客の方もみえます。このような多くの方が集う場所の歩道が突然の雨などで危険な箇所になりかねません。</p> <p>そこで町として、事故など起こる前に何らかの対策を講じて頂くことができないかお伺いします。</p>	町長

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
6	奈須克喜 議員	1. 魅力ある観光地の町づくりについて	<p>地方創生の一環として、高千穂町の将来像を描き、優れた自然環境や神話に基づく歴史環境を「まちの共通の財産」将来にわたって大切に守り、語り継ぎ育て、環境と共に生きる暮らしに誇りが持てる町として、5年計画で住民が主体となり、各種団体、事務局に建設課を加えて協議会をつくり、三田井地区（高千穂神社～くしふる神社）岩戸地区（門前町通り）で整備計画が進められています。</p> <p>高千穂町の活性化の一躍を担う観光については県内一の観光客数を誇るものの商業地は高千穂峡や高千穂神社、天岩戸神社といった高千穂町を代表する観光地に近接しているにも関わらず、少ない状況にあることから町中に誘導するような、環境仕組みづくりを行う事により町中の活性化を図る必要があります。</p> <p>三田井地区に於いては、神代川を県が河川改修で、環境と景観の再生工事が着工しており「天真名井・くしふる神社周辺」また河川周辺に町の公園が出来る事により、観光名所になると思います。</p> <p>1) 該当する地域住民への周知徹底が必要ではないか 2) 景観条例の設置時期について（アンケートの結果） 3) 三田井地区の県・町道の変更の時期について 4) 空家・空店舗対策について</p> <p>以上伺います。</p>	町長

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
7	本願和茂議員	<p>1. 消防団員を取り巻く環境について</p> <p>2. 子どもの貧困・心の病の対応について</p>	<p>①人口減少・少子高齢化時代に相応しい、適正な分団及び部数に再編すべきではないでしょうか。</p> <p>②夏季訓練場所の明確化と適正化が必要ではないでしょうか。</p> <p>③団員の職種やライフスタイルの変化に対応し、出動要請を各家庭の防災無線と屋外スピーカーだけでなくスマホアプリを利用し、あらゆる場所でも確認できる連絡体制の構築が必要ではないでしょうか。</p> <p>④山火事などで使用する背負い式のジェットシューターを各部に常備化し、少人数出動の場合においても消火活動が行えるようにすべきではないでしょうか。</p> <p>①町内の小・中・高生の不登校や、引きこもりの生徒数および状況についてお尋ねします。</p> <p>②子供たちを守るために、該当が予想される家庭については早い段階で実態を把握し、保護者に対し環境改善を促すことが重要かと思えます。本町のこれまでの取り組みと今後の方針をお聞かせください。 (教育長の経験や体験談などあれば、それらもまじえてお聞かせください。)</p> <p>③SNSのなかでのトラブルから交友関係に溝が生まれる事例もあると聞きますが、見えない部分に対しては学校側も対応は困難かと思えます。どのように対応していくのか、お聞かせ下さい。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p>

一般質問通告書

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
8	馬原英治 議員	1. 町内の杉伐採跡地の再造林について	<p>宮崎県は、20年以上も杉丸太生産量が日本一になっている。しかし、伐採跡地の再造林がなされていないのが現状にある。</p> <p>高千穂町も、伐採後の再造林率が50%程度になっていると思われる。この状態が続けば、環境破壊により、大規模災害面も心配される。</p> <p>町内の林業事情の現状と今後の対策を伺う。</p>	町長